

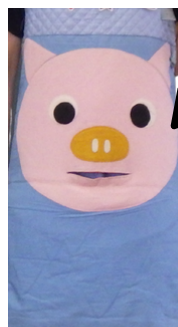
食育新聞

発行者
野村 菜美

1年生「元気な体をつくる食べ方を考えよう」

担任と栄養教諭によるチームティーチングで食育の授業を行いました。授業では上尾市の栄養士が作成したエプロンシアターを活用し、食べ物の働きについて勉強しました。

ケーキばかり食べているお姫様は元気ありません。魔女によって豚の姿に変えられてしまいました。



もとの姿にもどるために、苦手な食べ物を頑張って食べたお姫様。体も元気になって、好き嫌いしないことを誓うのでした。



好きな食べ物は？

担任の先生から、好きな食べ物や苦手な食べ物、苦手な食べ物が食事に出た時どうしているかを質問され、手をあげて答えました。苦手なものが食事に出た時は、ひと口はがんばって食べている児童が多くいました。



食べ物のたらきを学習

食べ物は食べると体の中で様々な働きをすることを学びました。体をうごかす・体をつくる・体の調子をととのえるという、三つの働きがありまう。色々な食べ物を食べると、体が元気になる理由が分かりました。



給食は3つの働きがそろっている？

給食で使われている食べ物を三つの働きごとに分けてみました。給食では元気な体をつくるために、毎回三つの働きをそろえている話を栄養教諭から聞きました。その後めあてを記入し、一週間給食チャレンジウィークに取り組みました。



授業後の様子

授業後の給食の様子を見てみると、「苦手だけど、食べるから見てて！」と声をかけてくれる児童や、バランスを考えて残さず食べようとする児童が見られました。一週間の給食チャレンジウィークの後、保護者の方からメッセージもいただき、児童は達成感を感じたと思います。ご協力いただきありがとうございます。授業後の意欲が、今後も継続するよう、呼びかけを続けていきたいと思ひます。

